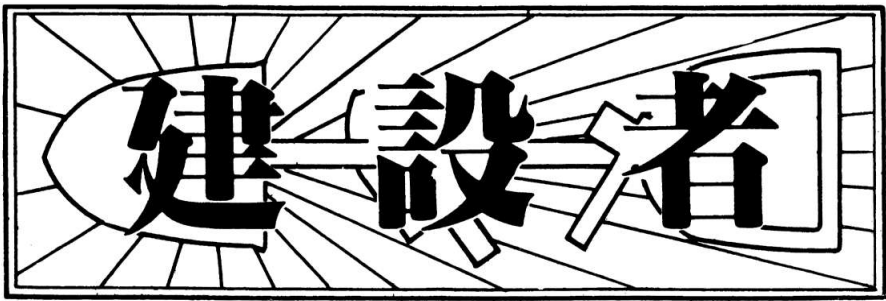


今月の葛飾組織現勢

2026年7月1日	3,986人
加 入	26人
転 入	0人
脱 退	98人
転 出	2人
2026年8月1日現在	3,912人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電 話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 関 根 伸 正



ビジョンセンター東京虎ノ門で集会参加する仲間

夏の予算要求集会 1000人が参加

【社会保障対策部担当 山澤書記】7月8日(水)、来年度の土建国保予算確保に向けた夏の予算要求集会(午前:対都要請運動・午後:全建総連中央総決起大会)が行われました。

国保への補助をはじめ 資材不足への支援を要請

熱中症予防でデモ行進なし

午前は都庁にて東京都に対しての要請行動を行い、午後は日比谷野外音楽堂が改修工事で使用できないため、ニッショーホールとビジョンセンター東京虎ノ門に分けての中央総決起集会を開催しました。会場参加者は約1000名。多くの仲間が駆け付け葛飾支部では、総勢27名が参加しました。

今回の要請行動では、土建国保の補助金の現行水準確保とアスベスト救済に向けた基金制度の拡充・インボイス制度の廃止はもちろんのこと、建材の価格がどんどん上がり続けてさらにはナフサ問題で現場に資材がなく、仕事ができなく困窮している現状で経済的支援を要請しました。

今回は、熱中症予防でデモ行進は行われませんでした。が、集会で皆の意識を共有し団結でのコールで解散となりました。



都庁前でガンバロウ三唱

多くの組合と一緒に取り組む

土建国保運営に4割の補助金

東京土建国保を維持、運営するには、土建国保組合に加入している皆さんからの保険料だけでなく、国からの補助金と都からの補助金が必要です。そのため、毎年予算要求集会、予算要求ハガキ、地元議員要請行動など数多く

その内訳は皆さんからの保険料が5割に対して、国と都の補助が4割とその補助金の割合は大きなウエイトを占めています。そのため、毎年予算要求集会、予算要求ハガキ、地元議員要請行動など数多く

東京都宛要請ハガキを書こう

多くの組合員、家族みなさんにご協力いただき取り組んでいる来年度の建設国保補助金獲得の運動ハガキ要請行動。6・7月に取り組んだ厚生労働省宛ハガキは、来年度予算確保に向けて厚労省が財務省への概算要求額を減らさないことを要請するための取り組みです。その結果、みなさんの協力で5416枚(昨年6584枚集まり、提出することができました。ご協力ありがとうございました。



集まった厚労省宛要請ハガキ

今後左記のとおり、東京都と財務省に向けたハガキ要請行動に取り組んでいきます。ハガキシート組織人員分が目標です。

- ・東京都宛ハガキ要請 8~9月の取り組み
- ・財務省宛ハガキ要請 10~11月の取り組み

今月からは東京都の補助金獲得に向けたハガキ要請行動に取り組みます。厚労省宛要請ハガキと同じように、4枚ハガキの1枚シートで、群会議での配布です。このハガキ要請行動は、私たちの建設国保を守るうえでも必要な取り組みとなります。より多くの組合員や家族のみなさんの力で建設国保補助金現行水準確保の取り組みハガキ要請行動を進めていきましょう。ご協力お願いいたします。



7月28日夕方、熊本で震度7の地震の発生を知らせる報道が一斉に日本全国を駆け巡った。熊本では10年前の2016年4月にも震度7の地震が発生、その被害からの復興途中での災害となった。地震からの倒壊被害だけでなく、イオンモールの爆発事故による破壊された建物の映像は、多くの人にショックを与えた。被災にあわれた方々にお見舞い申し上げます。

自然災害は、地震だけではなく、台風、線状降水帯など多岐にわたる。決して遠くで起っている災害ではなく、いつ私たちの生活するところ葛飾で起こるかもしれないという心構え、そしてそこへの備えが必要である。葛飾区では、地震・水害・噴火など想定される災害に対しての被害想定、行動指針、避難場所などの計画を公表している。みなさんはいざという時の避難場所を確認済であるだろうか。

また、私たち建設業において猛暑への対策も自然災害対策であろう。地球規模での温暖化は、日本の猛暑だけでなく、カナダ・スペイン・フランスなど世界各地の森林火災にもつながっている。現場だけでなく、私生活においてもしっかりと対策を進めていきたい。

世界ではいまだイランを巡る不安定な情勢をはじめ、紛争で多くの人が命を落としている。8月は終戦記念日である。自然災害ではなく人の意志が起こした戦争、その日を忘れてはならない。

共済制度学習会

制度を知りメリットを学習



21人が参加した学習会

【厚生文化担当 高橋書記】
2026年7月23日（木）19時より葛飾支部にて共済制度学習会を開催しました。参加者は21名で、厚生文化部員を中心に後継者世代や現在保険で気になることがある方が参加しました。
4団体より講師を招き、それぞれの制度についてご説明いただきました。
「東京都火災共済協同組合／事業用火災共済について」

どけん火災共済では法人の契約を行うことができないため、法人事業主の参加者からの注目を集めました。
「トータル保険サービス／新どけんオリジナルがん保険について」
がんは誰もがなり得る病気です、実際に掛かったときどれくらい医療費がかかるか等、お話しいただきました。組合員限定のプランでがん保険にご加入いただけます。

第2回集団健診 賃金アンケートも実施



【社会保険対策部担当 山澤書記】7月12日（日）にテクノプラザかつしかにて支部集団健診を実施しました。今年度2回目の健診は159名の仲間の受診がありました。

今回の健診では、賃金対策部による賃金アンケートを実施。131件の回答がありました。アンケートは運動に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

また、後継者対策部では休憩室を設置。子供を預かって家族が安心して健診を受けられる体制を用意しました。家族が戻った際には、共済や国保メリットについての説明をし、土建に入っている魅力を伝えました。

今回の健診は11月8日（日）を予定しております。奮ってご参加をお待ちしております。

テクノプラザで集団健診

部では休憩室を設置。子供を預かって家族が安心して健診を受けられる体制を用意しました。家族が戻った際には、共済や国保メリットについての説明をし、土建に入っている魅力を伝えました。

今回の健診は11月8日（日）を予定しております。奮ってご参加をお待ちしております。

夏の日常拡大成果表

	2026年 1月1日 付	2026年 8月1日 付	1月比 増減	夏日常 拡大 目標	夏日常 拡大 加入数	夏の日常拡大 成果表 8月1日現在										7月1日 付 脱退		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
🌸	たつみ	482	479	－3	10	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	増減▼3	15
	奥戸	379	375	－4	8	5	●	●	●	●	●						増減▼4	8
	本田立石	289	291	2	6	4	●	●	●	●							増減◎2	3
	青戸	136	130	－6	3	0											増減▼6	2
🌸	中央	337	345	8	7	2	●	●									増減◎8	2
	堀切	248	246	－2	5	7	●	●	●	●	●	●	●				増減▼2	5
	亀有	376	364	－12	8	5	●	●	●	●	●						増減▼12	6
	細田高砂	355	352	－3	7	5	●	●	●	●	●						増減▼3	10
🌸	柴又	155	156	1	3	4	●	●	●	●							増減◎1	5
	新金町	274	262	－12	5	0											増減▼12	9
	北水元	180	172	－8	4	3	●	●	●								増減▼8	3
	幸田	249	245	－4	5	3	●	●	●								増減▼4	9
	水元	352	347	－5	7	2	●	●									増減▼5	10
	その他	159	148	－11	3	1	●										増減▼11	11
	合 計	3971	3912	－59	81	52	6月25人 7月17人 8月10人 合計＝52人										98	

1月1日付人員比 59人増

夏の日常拡大

組織減少に歯止めを

4000人支部復活をめざす2026年の仲間増やしの取り組みは、7月1日付3912人の人員でした。1月1日付人員比では59人減少、4000人復活をめざす上では、88人の減少となつています。6月から7月の1か月間で26人の加入に対して、脱退が98人。加入者と比べ約4倍の脱退者です。

毎年、夏のこの時期・6月から8月までは、夏の日常拡大月間（仲間増やしの月間）と位置づけ仲間増やしの取り組みを進めています。7月時点ではたつみ・堀切・柴又の3分会がそれぞれ目標を超過達成。成果分会は11分会。目標数は81人に対して、新規の加入者数は52人です。前述のとおり脱退者がそれを上回る状況、加入者の人数以上に脱退する方の数の多さが目立つ結果となつています。

年末までに実増、4000人支部回復を目指すうえで、夏の日常拡大月間の取り組み

組みを進めています。7月時点ではたつみ・堀切・柴又の3分会がそれぞれ目標を超過達成。成果分会は11分会。目標数は81人に対して、新規の加入者数は52人です。前述のとおり脱退者がそれを上回る状況、加入者の人数以上に脱退する方の数の多さが目立つ結果となつています。

年末までに実増、4000人支部回復を目指すうえで、夏の日常拡大月間の取り組み

は重要なものになります。新規の加入者を増やすのと同時に、脱退者を出さない取り組みが実増にはかせません。皆さんの協力よろしく願います。

国民健康保険料が高くなった方や労災保険の加入、CCUSの登録など、どうすれば良いのかなどの未加入の方からの相談があった場合は、組合事務所をご紹介ください。

公式LINE登録しよう

